



保健だより



10月号
社会福祉法人大和善隣館
幼保連携型認定こども園
松陽こども園

10月10日は「目の愛護デー」。10を横にすると、まゆと目に見えるので、子どもの目を守るには、感染症やけがだけでなく、「見え方の異常」にも注意が必要です。

視力低下のサインチェック

こんなサインに注意



頭を傾げる



目を細める



横目で見ると



片目をつぶって見る



片方の目の焦点が合わない

見る力は、目から情報を取り入れ、脳で処理することを、毎日繰り返して育ちます。ところが、目に異常があると脳に情報が届かず、見る力が育ちません。早く治療を始めるほど回復しやすいので、見え方の異常に気づいたら、早めに眼科で相談しましょう。

正面から「見る様子」をチェックして

見え方のチェックにおすすめなのが、紙しばい。左右の目の焦点、ものを見る様子が詳しくわかります。



RS ウイルス感染症

感染経路は飛沫・接触感染です。2～8日の潜伏期間を経たのちに、鼻水・咳・発熱の症状が出現します。一度感染しても、繰り返し感染します。ウイルス排泄期間が7～21日と長く、感染力が強いため感染が広がりやすいです。小さなお子様は、気管支炎や肺炎など重症化する恐れもありますので、早めに医療機関を受診するようにしましょう。

RS ウイルス感染症と診断されたら…

熱が下がって24時間経過し、咳が落ち着き、普段通りの生活が送れるようになれば登園できます。日中は咳が少なく元気に見えても、夜間咳がひどく、十分に睡眠がとれていない場合は自宅での療養をお願いします。

予備のマスクのお願い

マスクを着用しているお子様には、予備のマスクを多めに持たせてください。マスクが汚れたときに、新しいものに交換をさせていただきます。秋から冬にかけて感染症が流行しやすい時期です。感染予防のために、よろしくお願いします。



インフルエンザ予防接種

感染力の強いインフルエンザにかかりにくくなり、発病しても重症化するのを防ぎます。接種を受けてから抗体ができるまでには約2週間かかるので、10月～12月頃には接種を済ませておきましょう。予防接種を受けたら園にお知らせください。

